

ロードスターを相棒にしたからには
旅の行程 6 2

第一章 相棒、ロードスター

いざ北国へ！ 9
雨の支笏湖 19
積丹半島を走る 29

第二章 フルオープンで！

余市のロマンと小樽散策 35
富良野へ 44
麓郷とラベンダーと美瑛の丘 55

第三章 ロードスターの日

猛暑の旭川と大雪山 73
滝上町からサロマ湖へ 83
いよいよ知床 91
知床横断道路を加速 100

第四章 北国の夏を浴びて

観光客の日 105
旅とナルシズム 115
羅臼から開洋台へ 118

第五章 夢を探して旅する

屈斜路湖から釧路、そして阿寒 127
二風谷へ 135
さらば！ 144

ロードスターを相棒にしたからには

人それぞれの旅がある。
私はロードスターと旅をする。
愛着の道具たちをトランクに詰め込んで、
知らない街を訪れ、一杯の珈琲を楽しむ。
気がねのない旅である。

北海道の丘を駆け、森に休む。



身のまわり品だけを詰め込む。
雨中テントでは机になる。投
宿時にはこれを持ち込む



コウモリ傘のようにくるくる
巻いて仕舞う。20年近いつき
あい



ドライビングシューズ。スリ
ムでペダルと干渉しない。踵
が丸い。街歩きにも



オープンカー用ジャケット。
チンフラップ、ライナーつき
で真冬でもOK



キャンプの夜を豊かな気分で
過ごす。珈琲、文庫本、パイ
プ煙草は一人旅に必携



フライフィッシングは静寂の
うちに自然と会話する手段。
リールとは長いつきあい



木製の柄杓を岩などにコンコ
ンと打ちつけ、刃を引き出す
オビネルナイフ



旅日誌は旅の想いを深くする。
一人旅の悦楽



キャンプの定番。クッキング
ストーブとコップル。長い
つきあいで一生モノ



